



Vol.90  
2020.5



## ルリタテハの“春”宣言

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori \* 網張の森の生き物たち \* amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori

### 成虫で冬を越した“ルリタテハ”

思いもかけず静かな5月を過ごしていたある日の夕方近く、湯の沢橋の袂に止まっていたルリタテハに出会いました。カメラを向けた途端に“パッ”と視界から消えてしまうほど俊敏で長年写真に収められずにいました。はやる気持ちを抑えつつレンズを向けると、案の定“パッ”と瞬く間に飛び去ってしまいました。「今回もダメだったか…」と半ば諦めていると、またやってきて同じような場所に着地。息を潜め一歩近づくとまた“パッ”。旋回するように飛んできては止まり、近づくと“パッ”の繰り返しです。コツコツと距離を縮めてようやく間近で観察することに成功。遠目からは翅の縁にある瑠璃色が目立っていますが、高級絨毯の毛並みを思わせるビロード状の体もうっすら青みがかっていました。羽化してすぐに冬を迎えるためか翅はそれ程傷んではいない様子です。冬を無事に越して森を飛び回る姿は生命そのもの。「ここにも春がきたんだよ！」と高らかに宣言してくれたように感じた出会いでした。

What is “Ruritateha”?

#### 『動きの速いタテハチョウ』

タテハチョウ科  
開帳：約 50~65mm  
分布：日本全土

タテハチョウ科では珍しく食草はサルトリイバラ、ホトトギス、ヤマユリ、シオデなどの単子葉植物。成虫は樹液や腐果などを好み、オスには占有行動が見られる。裏翅は全体的に褐色で翅を閉じていれば樹皮や枯葉に紛れて見つかりにくい。

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomori

宮沢 賢治  
『風の又三郎』より

どうど どうど  
どうど どうど  
青いくるみも  
すっぽいかりんも  
吹きとばせ  
どうど どうど  
どうど どうど  
吹きとばせ  
どうど どうど  
吹きとばせ  
どうど どうど  
吹きとばせ  
どうど どうど  
吹きとばせ  
どうど どうど

新連載

# 倒木を読む

第1話 その余波、供給の始まり



と共に横たわったハウチワカエデは春になって芽吹いた！ ガンバレ！

昨秋、台風19号によって網張薬師社北側のミズナラが被害を受けた。幹回りを中心に結構な量の表土を含めて根こそぎ持っていた形だ。よく見ると倒木の足元に根を下ろしていたハウチワカエデやヒメアオキ達も、運命共同体で倒されていた事が分かった。倒木の樹冠に目をやると、別のミズナラが「マジでこっちに倒れる！？」と言いたげな様子で、今回厄災にあった同種を途方に暮れつつ支えていた。

人が作り出す物の多くは壊れたら終わる。複雑になるほどリユースできる部分は限られる気がする。木は違う。倒れてなお、様々な形で他者に恵みを与え、土壤に還る時まで存在感を持ち続ける。この連載ではその断片を探っていきたい。



Q. 網張では毎年のように木が倒れているけど、森が無くなってしまわないかちょっと心配。大丈夫かな？

A. 林床には小さな木の赤ちゃんや低木、種子が大きくなる出番を待っているから安心してください。時間はかかるけれど、本来森は再生する力を持っているよ（天然更新）。それに木は生命力が強くて、たとえ切り株になってしまっても脇から芽を出して復活する事もあるんだ（萌芽更新）。ただし、過去に火山噴火や寒冷化によって、森のメンバーの衰退や入れ替わりが起きている事も確かです。世界的に異常気象や森林伐採、山火事等で森が少なくなっているのも気がかりだね。



Amihari  
Birds

アミハリ・バーズ Vol. 33

## カシラダカ

科名：ホオジロ科

全長：約15cm

生態：冬鳥

分布：九州以北  
(北海道では旅鳥)



ようやくオオヤマザクラが開花した大型連休の頃、網張のキャンプサイトの土手の方から「チッチッ」と定期的に聞こえる鳴き声がしました。近づいたところ、ぱっと数羽が飛び立ちそのうちの1羽は近くの木にとまり、一瞬ふわあっと短い冠羽をふくらませた事から、夏羽で頭が黒いカシラダカの雄だと分かりました。冬鳥なのでおそらく北へ渡る途中に

立ち寄ったもの思われます。実際、出会ったのはその日だけでした。きっと地面で昨年実った種子などをついばみ、体力を回復させていたのでしょう。カシラダカの渡りについての研究によると、日照時間が13時間を境にホルモンの分泌が変化し、渡りの気分が高まるそうです。先日のカシラダカも、繁殖地であるシベリア北部やカムチャツカ半島、アリューシャン列島のどこかへ辿り着いた頃でしょうか。とても早口で複雑なさえずりが、高緯度地域によく訪れた春を一段と加速させるはずです。



岩手山はどこから見ても美しい。季節を問わずよく晴れた日、岩手山がくっきり見えると思わず携帯電話を取り出して写真を撮りたくなってしまう。車を走らせていて、

「ああ、今日の岩手山は最高だな・・・写真撮りたいな・・・などと思いを巡らせていると、路肩にハザードランプを点滅させている車によく出会う。大きな望遠レンズの本格的なカメラマンから、私のような携帯カメラ愛好家まで、写真を撮る姿は様々だが、岩手山に魅せられて・・・という思いは同じではないだろうか。

私のとっとおきの1枚に選んだこの写真は、小畠から三ッ石山荘へ戻る途中で撮影したものだ。どの角度から見ても美しい岩手山だが、こちらからの角度は、普段の生活の中では見ることができない。南からや東からの見慣れた姿とも、北からの荒々しい姿とも違う私の心の中の南部富士の姿である。景色に魅せられて撮影したものだが、その美しい景色を構成しているのは、手前からチシマザサ、ハイマツ、森林限界のオオシラビソ、さらに奥に見える樹林帯と大きく抉れた山並み。そして写真には写らない多くの命。岩手山の植生、火山の歴史、命の営み・・・。壮大なドラマを持つ1つ1つの命が繋がって、この景色を作っている。理屈抜きで心が美しい！と感じるから絶景なのだろうけれど、美しいと感じた景色について掘り下げて考えることも視点を広げる1つになるのかもしれない。

この写真を撮影日したのは2019年9月の半ば過ぎ。三ッ石山の紅葉はまだ早いとの情報だったが、この時期になるとあの真っ赤に染まった景色が見たくてソワソワしてしまう。「下見だね」などと言いながら友人と出かけた。奥産道の駐車場には既にたくさんの車が停められていた。ギリギリ駐車場に停めて出発。穏やかな登山日和だと思って歩いていたが、徐々に風が強く冷たくなり、カメラを素手で操作した後は手が悴むほどだった。岩に手をやると優しい温かさ。なんだか気持ちも温かくなった。情報通り紅葉には早かったが、この日の景色が見られたことに感謝したい。

別の機会に一緒に歩いた友人が、この角度の岩手山を「漢字の山だね」と言った。素直に「ああ、なるほど！」と思ったが、これは人によって見解が分かれる。その後歩いてみて、私個人的には、三ッ石山荘から三ッ石山に登る途中から見える岩手山の方がより「漢字の山」に近い気がするがどうだろうか。

新シリーズ 「網張 岩手山 私のとっとおきの1枚」

網張、岩手山周辺で撮影した1枚の写真とそこから広がるエピソードをご紹介していきます。

### 「盛岡管理官事務所に着任いたしました」 環境省 国立公園管理官 秋月 亮介さん

はじめまして！4月に盛岡管理官事務所に着任いたしました、秋月亮介です！現在環境省7年生で、これまで箱根（神奈川）、熊野（三重、和歌山）、那覇（沖縄）、川湯（北海道）と1～2年毎に事務所を転々としています。現場事務所は盛岡で4カ所目ですが、いずれも歳八十を超える古参公園ばかりを担当しており、なにか運命を感じています。

私、山にも海にも紫外線にも弱い引きこもりレンジャーを自称していますが、前任地ではロングトレイル開発のための藪漕ぎ踏査をしたり、今にも割れそうな凍った湖の上の調査に同行したりと、なかなかハードな教育を受けましたので、盛岡でもいろんなことにチャレンジしてみようと思います！

着任してからしばらくの間、冬季閉鎖で現場に行けず、また疫病の影響で人と会うこともままならない状態でしたが、少しずつ、雪も緊張も解けてきたので、これから皆さまにお会いできる機会が増えることを心待ちにしております。前任の荒巻に引き続き、これからどうぞよろしくお願ひいたします。

#### ◆管理官よりお知らせ！◆

網張ビジターセンターの改修工事が着々と進んでおり、現在は管理棟（温泉館側）が使用できなくなっています。懐かしの昔道具などが見られなくなってしまったさみしいですが、新しい展示で再登場！…するかも？



かつて世界一の透明度を誇った摩周湖をバックに

# V C 行事 報告

写真提供：岩手山地区パークボランティア

実施いたしました行事は、新型コロナウイルス感染症対策に重点を置きながら開催いたしました。今後開催予定の行事につきましても、引き続き対策を講じながら行ってまいります。

## 3月14日☆残雪を楽しむ！ 芳沢牧野スノーシューハイキング



網張スキー場の西側に広がる緩やかな傾斜地である芳沢牧野は、夏の間は牛が放牧されていて立ち入ることが出来ません。1年のうち、この時期にしか見ることのできないブナやミズナラの自然林や雪原の景観を、小学生1名を含む総勢36名で楽しみました。青空のもと参加者からの民謡も飛び出し、ホッコリとした時間もすごせました。途中でパークボランティアさんより問題！「風の前に犬が三匹。何でしょう？」・・・答えは「つむじかぜ」



## 4月5日☆根開きのブナの森で 春を探そう（スノーシューハイキング）



・・・「耳当てて 根開きの樹の 声を聞く」

深谷 雄大・・・

クローズされた静かなスキー場の森に入り春を探しました。大きく開いた根開き。膨らんできた冬芽。カモシカの足跡や標高によって変わるブナとダケカンバの植生などたくさんの発見がありました。春の柔らかな日差しの下での散策でしたが、昼食を食べていると白樺ロッジの外は吹雪！山の天気・・・です。小学生2名を含む総勢21名でいろいろな春を楽しみました。

## インフォメーション

### 7月5日(日)市民火山教室 「大松倉山に見る岩手山の火山活動」

8:00～15:00 網張温泉スキーセンター前集合  
定員：10名 参加料：大人 1,900円 小学生 1,100円

### 7月11日(土)～16日(木)

### 夏の網張の森ヒメポタル観察会

19:40～20:40 網張ビジターセンター集合  
定員：各10名 参加料：1人 300円

### 7月18日(土) 国立公園で楽しむ親子の 自然体験

 「ナイトハイクと星空観察★」  
  
19:00～20:50 網張ビジターセンター集合  
定員：親子7組 15名 参加料：大人 500円  
中学生以下 300円

☆詳しくはビジターセンターまでお問い合わせください。  
☆新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止や内容が変更になる場合もございます。最新の開催情報を事前にご確認下さい。

## モモンガのつぶやき

はじめまして。新入りモモンガCです。4月より網張の森の住民となりました。宜しくお願ひします。新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、4月半ばより閉館しておりましたが、今月11日より、開館いたしました。時を合わせるようにオオヤマザクラが咲き始めました。「今年はゆっくり花見出来なかったのよ」としみじみお花見をされている方もいました。コロナ禍の一日も早い収束を願うばかりです。（C）

## みんなでマップづくり

「網張の森でいきものみっけ！」がスタートして1年が経ちました。これは来館者自身が発見した網張の自然を ①「咲いている花などの植物」、②「哺乳類、鳥類昆虫、などの動く生きもの」、③「聞こえたもの、においのするもの」、④「不思議なもの」の4つの観点から色分けした付箋に自由に書き込み、網張の森のマップに貼り付けていくものです。マップ上に蓄積された情報を見た別の来館者がまた新たな出会いを体験するといった循環が生まれています。2年目の今年、あなたもマップ作りに参加してみませんか？



## 十和田八幡平国立公園 網張ビジターセンター

来館者数 ◆ 3月 998人 ◆ 4月 335人  
朝9時のビジターセンター平均気温 ◆ 3月 -2.6°C ◆ 4月-0.2°C

## 発行 網張ビジターセンター運営協議会

〒020-0585 岩手県岩手郡雫石町長山小松倉1-2（網張温泉）  
TEL 019-693-3777 FAX 019-693-3778  
URL <http://amihari17.ec-net.jp>  
E-mail amihari@vanilla.ocn.ne.jp  
開館 夏期（4月から10月末まで）休館日なし 9時～17時